

BUSINESS  
REPORT  
2025

## 第81期株主通信

2024年4月1日 &gt;&gt;&gt; 2025年3月31日

黒田精工株式会社

証券コード：7726

## 株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

## ■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社ホームページに決算の内容や会社現況を説明した動画を昨年に引き続き掲載いたします。本通信と合わせてそちらをご覧ください、当社の現状につきご理解を深めて頂ければ幸いです。

ここに当社第81期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

2025年6月

## ■当期の概要

当期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の政策動向や中国経済の先行き懸念、継続的な物価上昇、地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、世界的EVシフトの減速の影響を受けた一方で、駆動システム製品および家電用モーターコア等の増加があったことから18,239百万円（前期比974百万円、5.6%増）と微増となりましたが、期待していたほどの回復とはなりませんでした。売上高については、駆動システム製品および車載向け金型やモーターコアの減少等により17,284百万円（前期比1,220百万円、6.6%減）となりました。

利益面に関しては、経費削減に取り組みましたが売上高の減少の影響が大きく、連結営業利益は311百万円（前期比271

百万円、46.6%減）となりました。経常利益は、車載用モーターコアの発注減少に伴う顧客からの補償金および新工場建設に伴う補助金等の営業外収益があったものの、前期と比べ為替差益が大きく縮小したことから、419百万円（前期比425百万円、50.4%減）と大きく減少し、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては172百万円（前期比325百万円、65.4%減）となりました。

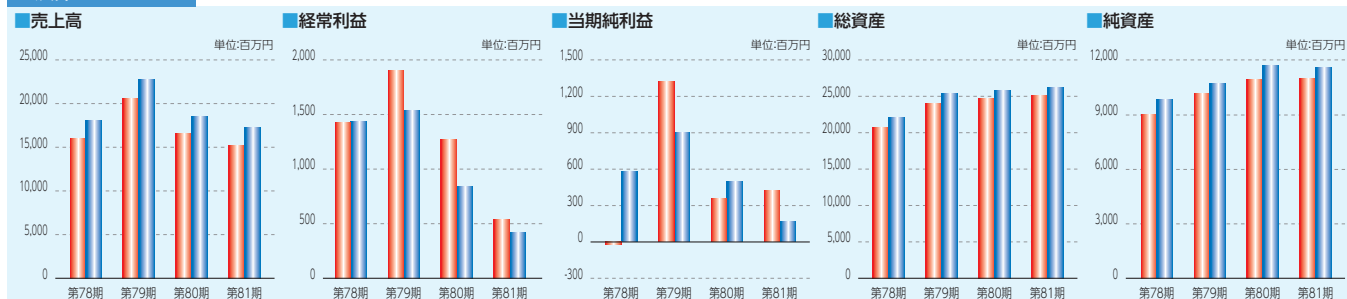
配当については1株当たり20円とさせていただきます。連結配当性向は66.2%となります。前期からの減少とはなりますが、株主の皆様への還元を可能な限り安定的に維持したいと考え中期目標を超える配当性向といたしました。

## ■来期の見通し

金型セグメントにおいては、家電用モーターコアが堅調に推移することに加え車載用モーターコアの主要顧客の生産回復が見込まれることから、売上が大きく伸びると見ております。その一方で、モーターコア生産の一部を提携先企業に移管すること、およびそれに伴い相対的に利益率が低いモーターコア製造設備売上の占める比率が増加することから、利益面での伸びは抑えられる見込みです。また、駆動システムおよび機工・計測システムについては市況の緩やかな回復を想定するとともに、営業力強化、商品ラインナップの拡充、原価および経費削減等に取り組むことを通じて黒字転換を図る計画です。結果として、次期連結業績は、売上高20,700百万円、営業利益700百万円、経常利益500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益310百万円を見込んでおります。

次期の配当につきましては、当社の創業100周年にあたって株主の皆様へ感謝の意を表するために、2025年9月30日を基準日とする1株当たり10円の記念配当の実施を予定いたします。また、期末配当につきましては、上記の収益見通しを勘案し、1株当たり20円を予定しております。株主の皆様には何卒ご理解と変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 決算ハイライト



## ■ 駆動システム

売上高 **6,371**百万円

当セグメントでは、当連結会計年度後半から本格的な回復を予想していた半導体・液晶関連装置市場向け商品の受注回復ペースは予想よりも緩やかで受注高は6,339百万円（前期比689百万円、12.2%増）となりました。売上高については、前期に比べ期初の受注残が少なかった影響を受けたことに加え、経済が減速した中国の子会社が減収となり、6,371百万円（前期比340百万円、5.1%減）と減収となりました。利益面では、減収の影響に加え、ドイツ子会社において前期よりは縮小したとは言え赤字が残ってしまったことや、利益率が高い研削ボールねじの売上が減少したこと等から、営業損失125百万円（前期は営業損失91百万円）の結果となりました。

## ■ 金型システム

売上高 **7,567**百万円

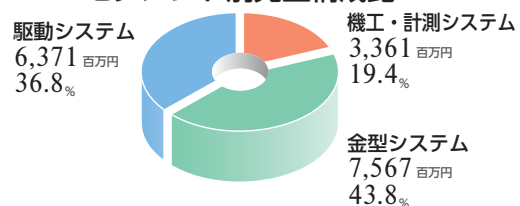
当セグメントでは、家電用モーターコア等が堅調に推移した一方で、EVシフトの減速に伴い車載用モーターコア金型のリピート受注が減少したことに加え車載用モーターコアの主要顧客の生産調整が継続した結果、受注高は8,459百万円（前期比280百万円、3.4%増）に留まりました。売上高は、受注高と同様に家電用モーターコアの売上が増加した一方で車載用モーターコアや金型が減少したこと等により7,567百万円（前期比732百万円、8.8%減）となりました。利益面においては、売上高の減少および固定費の増加の影響により、営業利益は580百万円（前期比184百万円、24.1%減）となりました。

## ■ 機工・計測システム

売上高 **3,361**百万円

当セグメントでは、測定システムの受注増があった一方で、要素機器製品の受注が減少し、コンプレッサー輸入販売事業から撤退したことの影響等もあり、受注高は3,457百万円（前期比22百万円、0.7%増）とほぼ横ばいとなりました。売上高については、工作機械において当年度の売上に寄与する案件が少なかったことやコンプレッサー輸入販売事業からの撤退等の影響により3,361百万円（前期比165百万円、4.7%減）となり、営業損失は103百万円（前期は営業損失54百万円）の結果となりました。

## セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 長野工場の生産体制強化

金型事業部は、世界各国で受注した電動車プロジェクトに対応するために、現在長野工場における最新鋭のモーターコア量産プロセスの確立および金型の生産体制の増強を進めています。2023年12月の第8工場の竣工に続き、第9工場が2025年4月に完成しました。第8工場には大型プレスラインとモーターコアに磁石を挿入し樹脂により固着する工程（MAGPREX®）のラインを構築し、5月より量産を開始いたしました。第9工場には世界最大級の4,300mmサイズの大型精密高速プレス機を導入し、世界に先駆けて大型駆動金型の多列抜き生産体制を整えました。

また金型の組立工場として現在第4工場を建て替え中で、2026年2月に完成、4月より稼働を予定しています。この2階には北アルプスが望める大窓を採用した社員食堂を備える計画です。

こうした一連の新工場の竣工に合わせて、長野工場全体のレイアウトを現在大幅に組み替え中で、順次最新鋭の工作機械の導入を進め、金型生産能力の増強ならびに生産性の向上に取り組んでいます。



長野工場第9工場

## ■ 空飛ぶモビリティに最適なモーターコアの販売開始

当社は空飛ぶモビリティに最適なモーターコアの生産プロセスを開発し、販売を開始したことを2025年4月に発表しました。このモーターコアは、通常の電磁鋼板に比べて高磁束密度、高透磁率、低鉄損という特性のあるパーメンジュール材を使用し、小型軽量かつ高出力のモーターを実現します。重量を軽くし長時間飛行できることが求められる空飛ぶモビリティ用途には最適で、その普及に貢献することが期待できます。これと並行して、航空宇宙分野の品質マネジメントシステムに関する国際規格であるJIS Q 9100の認証を5月に取得し、お客様からの高い要求に対応できる体制を整えました。



空飛ぶモビリティのイメージ図

## ■ 平湖黒田精工有限公司の100%子会社化と社名変更

当社の中国における現地法人である平湖黒田精工有限公司は、2025年4月に開催された同社の株主会および董事会において、同社におけるJFE商事グループの持ち分（5%弱）を当社が買い取り100%子会社とすることを決議しました。これに合わせて社名も、平湖黒田精工有限公司から黒田精工（浙江）有限公司という名称に改めることとしました。同社は

2001年にJFE商事グループの協力を得て金型のメンテナンスを主業務として発足しましたが、その後、他事業部の中国における事業拠点としての役割も加わり、現在では駆動システム関連の売上が会社の約7割を占める形となっていることから今回の完全子会社化に踏み切ったものです。これを機に、当社の中国における中核拠点として今まで以上に積極的に市場開拓を図ってまいります。なおJFE商事グループとは、引き続きマレーシアのクロダプレシジョンインダストリーズ（M）の株式の30%を持つパートナーとして協力関係を続けてまいります。

## ■ 木質バイオマス発電による電力の導入

当社は2050年カーボンニュートラル実現に向け、2030年度CO<sub>2</sub>排出量を対2018年度比40%減とする計画を公表しています。その実現のため、工場に太陽光発電システムを2020年より順次設置していますが、2025年4月より新たに富津園3工場において国産材100%の木質バイオマス発電による再エネ電力の導入を開始しました。これにより年間1,600tのCO<sub>2</sub>の削減を見込んでいます。

## ■ リーンシックスシグマ・グリーンベルト

当社は改善活動をより科学的に効率よく推進するため、2020年よりリーンシックスシグマ・グリーンベルト（LSS GB）資格取得者の育成を進めてまいりました。昨年度、LSSに加えデジタルトランスフォーメーション（DX）を通じて更なるビジネス変革をリードするスキルを有する人財として経済産業省および厚生労働省が設けた「ビジネスアーキテクト&リーンシックスシグマ・グリーンベルト」という資格を修得するための研修を修了し、合計22名の改善リーダーが誕生しました。このグリーンベルトの有資格者を中心に、今後当社はLSSおよびDXによる改善・改革を更に強力に推し進めてまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 2024年3月31日現在	当 期 2025年3月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	13,583	13,054
固 定 資 産	12,300	13,105
有 形 固 定 資 産	8,393	9,335
無 形 固 定 資 産	170	167
投 資 そ の 他 の 資 産	3,736	3,602
資 産 合 計	25,884	26,159
負債の部		
流 動 負 債	8,184	8,469
固 定 負 債	6,003	6,107
負 債 合 計	14,187	14,577
純資産の部		
株 主 資 本	8,782	8,787
資 本 金	1,930	1,941
資 本 剰 余 金	1,535	1,556
利 益 剰 余 金	5,324	5,297
自 己 株 式	△9	△9
その他の包括利益累計額	2,726	2,598
その他有価証券評価差額金	1,285	1,090
土 地 再 評 価 差 額 金	814	803
為 替 換 算 調 整 勘 定	571	648
退職給付に係る調整累計額	55	56
非支配株主持分	188	196
純 資 産 合 計	11,697	11,582
負債・純資産合計	25,884	26,159

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当 期 2024年4月1日～ 2025年3月31日
売 上 高	18,504	17,284
売 上 原 価	14,066	13,187
売 上 総 利 益	4,437	4,097
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,854	3,785
営 業 利 益	583	311
営 業 外 収 益	519	445
営 業 外 費 用	258	337
経 常 利 益	844	419
特 別 利 益	54	106
特 別 損 失	780	123
税金等調整前当期純利益	118	402
法人税、住民税及び事業税	318	245
法 人 税 等 調 整 額	△671	△3
当 期 純 利 益	471	159
非支配株主に帰属する当期純利益	△26	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	498	172

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当 期 2024年4月1日～ 2025年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	427	1,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△1,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	214	468
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	5
現金及び現金同等物の増減額	△726	57
現金及び現金同等物の期首残高	3,960	3,233
現金及び現金同等物の期末残高	3,233	3,290

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



# 単体財務諸表

# 会社の概況／株主メモ

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 2024年3月31日現在	当 期 2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流 動 資 産	11,584	11,368
固 定 資 産	13,059	13,764
有 形 固 定 資 産	7,647	8,420
無 形 固 定 資 産	159	158
投 資 そ の 他 の 資 産	5,252	5,185
資 産 合 計	24,644	25,132
<b>負債の部</b>		
流 動 負 債	7,823	8,232
固 定 負 債	5,872	5,914
負 債 合 計	13,695	14,147
<b>純資産の部</b>		
株 主 資 本	8,848	9,091
資 本 金	1,930	1,941
資 本 剰 余 金	1,507	1,517
利 益 剰 余 金	5,419	5,640
自 己 株 式	△9	△9
評価・換算差額等	2,100	1,893
その他有価証券評価差額金	1,285	1,090
土 地 再 評 価 差 額 金	814	803
純 資 産 合 計	10,948	10,985
負債・純資産合計	24,644	25,132

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当 期 2024年4月1日～ 2025年3月31日
売 上 高	16,538	15,256
売 上 原 価	12,823	12,052
売 上 総 利 益	3,714	3,203
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,737	2,777
営 業 利 益	977	425
営 業 外 収 益	509	414
営 業 外 費 用	217	299
経 常 利 益	1,269	539
特 別 利 益	50	172
特 別 損 失	1,401	108
税 引 前 当 期 純 利 益	△81	604
法人税、住民税及び事業税	282	217
法 人 税 等 調 整 額	△718	△34
当 期 純 利 益	354	421

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 会社の概要

(2025年3月31日現在)

商 号 黒田精工株式会社  
本 店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
創 業 1925年（大正14年）  
資 本 金 19億41百万円  
従業員数 434名

## 連結対象会社の状況 (2025年3月31日現在)

連 結 子 会 社	持 分 法 適 用 関 連 会 社
クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)	日本金型産業株式会社
平湖黒田精工有限公司 (中国)	紅忠黒田ラミネーション株式会社
韓国黒田精工株式会社	
KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)	
Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)	
KURODA JENA TEC, INC. (米国)	
株式会社ゲーjing	

## 当社グループの主要な事業 (2025年3月31日現在)

セ グ メ ン ト	主 要 製 品
駆 動 シ ス テ ム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金 型 シ ス テ ム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機 工 ・ 計 測 シ ス テ ム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置

## 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月下旬		三井住友信託銀行株式会社
基 準 日	毎年3月31日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
認 許 証 明 書			三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 https://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。	(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)

## 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式	お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
支払期間経過後の配当金に関するご照会	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
株式事務に関する一般的なお問合せ	受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
○特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。	
お問合せ先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
受 付 時 間	9:00～17:00 (土日休日を除く)
[手続き書類のご請求方法]	
・インターネットによるダウンロード <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency</a>	

## 黒田精工株式会社

本社／〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
TEL／044-555-3800 (代表) FAX／044-555-3524  
<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

